

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社そごう・西武	事業所名	そごう大宮店	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握	自動車排出温室効果ガスの削減に向け、物流業務の効率化を目的に、発注から納品までの業務プロセスに関する情報を運送業者ならびに自社の関連部門と共有し、課題の抽出と改善に取り組む。			○	○	○
( 02 )	貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施						
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	各社提出していると確認している(HP等)			○	○	○
( 01 )	貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認						
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	環境ビジョンを掲げ、サステナビリティとして目標を掲げ取り組んでいる。(CO2削減、大気汚染物質削減、リターナブル・包装レス輸送への移行)また、委託する輸送業者については、環境配慮経営を行っている業者を選定している。			○	○	○
( 02 )	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化	納品代行センターに集約し、センター便での一括納品			○	○	○
( )							
04	積載率の向上による輸配送の効率化	ハンガー納品システムを導入。また形状が統一されている折コンBOXを使用。不揃いな段ボール等の箱類をできる限り使用しないことで、積載率を向上させている			○	○	○
( 01 )	商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上						
04	積載率の向上による輸配送の効率化	各メーカーによる直接納品を原則やめていただき、指定納品代行(浪速運送・アクロストランスポート、紀文フレッシュ、フレッシュロジ)使用を推奨することで納品車両の集約を実施			○	○	○
( 02 )	混載便の利用や共同輸配送の取組						

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	1回の積載量増のため、ハンガー車両の使用(ラックの輸送が不要)。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	納品は6:00~10:00までの開店前を基本とする(納品代行早朝納品最優先)、搬出は15:00までとし、配送品集荷は12:00・15:00・17:00で分散化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	主要車両(センター便・路線便・配送集荷便)はダイヤグラムを組み納品時間・バースを割付	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	臨時車両入構時は、バース管理表により混雑時間外に割付しバースの混雑を緩和し待機時間を最小化する。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ( )	各お取引先からそごう・西武への納品商品を納品代行業者の物理拠点に集約。物流拠点で仕分けし、グループ各店へ横持ち搬送を実施	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	館内放送、ポスター掲示により、委託事業者に積極的な要請を行っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	臨時車両入構時は、バース管理表により混雑時間外に割付しバースの混雑を緩和し待機時間を最小化することで、駐停車及びアイドリングの防止	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

08 サードパーティーロジスティクスの活用 ( )	お取引先に「指定納品代行会社」の利用を促進し、「納品代行システム」による物流システムを構築する。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ( )	納品代行システムにより、定期便の到着時間を確定。他路線便・自社便・臨時車両は、納品バース管理表により、待機車両を撲滅する。	○	○	○
11 その他の必要な取組 ( )	駐車場及び周辺の渋滞緩和策の継続	○	○	○

### 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	株式会社そごう・西武	事業所名	そごう大宮店		
取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発		ホームページに公共交通機関のアクセス案内と地図を掲示している	○	○	○
02 自転車の利用促進 ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理		駐輪場(自転車421台・バイク15台)を整備している。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ( 02 ) 自転車利用者へのインセンティブの付与		入庫から2時間まで無料(一日最大400円)	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車用充電器68台(急速1台、普通67台)設置	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ( )	ポスター掲示(駐車場内・店舗納品場) 係員による注意喚起。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	駐車場出入口ならびに納品場に誘導員配置(業務委託) ●駐車場(平日9:45~18:45、土日祝9:30~18:30) ●納品場 6:00~15:00	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	自動精算機の設置、混雑時の時前館内のアナウンス実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	自営駐車場(本館地下駐車場・P館駐車場2カ所)への看板設置 ホームページでの分散来店のご案内	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	配送品は特定の業者(ヤマト運輸)に委託	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	eデパ(eコマース)事業の拡大	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等	低炭素車両へのシフト・市街地での電動自転車、台車の使用（ヤマト運輸施策）	○	○	○
(03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組				
07 サイクルシェアリング及びカーシェアリングの普及促進	2018年6月より、レンタサイクル設置(12台)	○	○	○
(01) レンタサイクル及びコミュニティサイクルの推進				
07 サイクルシェアリング及びカーシェアリングの普及促進	2018年11月より、3台から12台に増台	○	○	○
(02) カーシェアリングの推進				